



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	マンガ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」に描かれる旅行動向に関する考察(その1) : 研究手法確立に向けた予備調査
Author(s)	石川, 美澄
Citation	北海道大学文化資源マネジメント論集, 4, 1-7
Issue Date	2008-12-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35145
Type	departmental bulletin paper
File Information	aper004.pdf



マンガ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」
に描かれる旅行動向に関する考察（その1）
—研究手法確立に向けた予備調査—

石川美澄

北海道大学大学院国際広報メディア観光学院
文化資源マネジメント研究室

◆お願い◆

本報告書の著作権は筆者個人（石川美澄）に帰属します。
文章・図表等の無断転用を禁じます。
引用、リンクの際は下記メールアドレスまでご連絡下さい。



ishikawa@cats.hokudai.ac.jp

1. はじめに

ツーリズム研究において、女性ファッション雑誌や旅行雑誌、ガイドブック、ツアーパンフレットなどの媒体に見られるキャッチコピーや表現方法をもとに、旅行動機や観光地に対するイメージの形成などを調査・分析した先行研究はある¹。しかしながら、マンガに描かれている「旅行」を題材としたストーリーに焦点を当て、それらに見られる「旅行」を表す表現や描写を整理し、既存のツーリズム研究で論じられてきた旅行動向などと比較した研究は、管見したところ見当たらない。このような背景を踏まえ、本研究の目的を以下のように設定する。

- (1) マンガ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」に描かれる「旅行」を扱った巻²を整理すること。
- (2) 先行研究において明らかにされている「旅行」の特徴と、(1)で整理したものとは比較し、考察すること。

本稿では、今後こうした観点に立った研究を進めていくうえでの基礎的知見を得るために、第2章において、調査対象の妥当性を論じ、第3章において研究手法確立に向けた予備調査結果の報告を行う。

2. 調査対象の妥当性 ―なぜ、「こちら葛飾区亀有公園前派出所」を選ぶのか―

まず、マンガ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」について説明したい。

「こちら葛飾区亀有公園前派出所（以下、「こち亀」）」とは、東京の下町で警察官として勤務する主人公・両津勘吉（りょうつかんきち）が、同僚や上司、近所の商店街の主人などと繰り広げる、笑いあり人情ありのギャグ漫画である（原作者：秋本治）。このマンガの特徴は、二つ挙げられよう。ひとつは、1976年に『週刊少年ジャンプ』（1969年創刊、集英社）に連載されて以来、現在まで30年以上の歴史を持っている点である。『週刊少年ジャンプ』の連載では、2007年に連載数1500回を達成し、「こち亀」の単行本（以下、コミックス）では、現在まで全162巻が発売されている³。もうひとつは、『週刊少年ジャンプ』という“週刊”のマンガ雑誌に連載されていることもあり、時事・社会問題を扱った巻が確認できる点である。例えば、1996年『週刊少年ジャンプ』には、「両さんのパソコン講座の巻⁴」や「インターネット駄菓子屋の巻⁵」、「ハイテク世代 V.S. オヤジ世代!!の巻⁶」が描かれている背景として、前年（1995年）にマイクロソフト社から発売されたOS「ウィンドウズ 95」の話題があると考えられる。また、2007年の『週刊少年ジャンプ』に、「工場に惹かれての巻⁷」が描かれている背景としては、2006年頃から話題になり始め、2007年に写

¹ 例えば、高橋（2000）、岡田（2003）など。

² ここでは、「第○号」や「○話」ではなく、「巻」を用いることとする。

³ 2008年12月23日現在。ちなみに、「こち亀」以上に、連載期間の長いことで知られている「ゴルゴ13」（作者さいとうたかを、毎月2回発行の『ビッグコミック』（小学館）にて現在も連載中）のコミックスは、全151巻である（2008年12月23日現在）。

⁴ 『週刊少年ジャンプ』1996年13号に掲載。

⁵ 『週刊少年ジャンプ』1996年14号に掲載。

⁶ 『週刊少年ジャンプ』1996年15号に掲載。

⁷ 『週刊少年ジャンプ』2007年30号に掲載。

真集まで発売されるようになった「工場萌え⁸」ブームがあると考えられる。なお、これら以外にも何点か同様の事例が確認できたが、ここでは割愛する。

そこで、筆者は二つの仮説を立てた。ひとつは、旅行行動や観光地に対するイメージを長期連載中のマンガから読み取ることで、旅行動向の変遷を整理することができるのではないだろうか、という仮説である。前述したとおり、ツーリズムに関する先行研究では、旅行雑誌やガイドブックなどの媒体、つまり、旅行商品の購入に直結し易いと考えられる媒体を対象とした調査・分析が行われてきた。しかし、マンガという一見旅行行動とは結びつきそうにない媒体を調査・分析することにより、ツーリズム研究における新たな論点を見出せるのではないだろうか。もうひとつは、マンガに描かれている「旅行」に関する表現や描写と、ツーリズム研究で明らかにされている日本の旅行動向を比較することで、何らかの相違・類似点を明らかにできるのではないだろうか、という仮説である。

以上を踏まえると、ツーリズム研究の調査対象として「こち亀」を取り上げることに一定の妥当性はあると考える。

しかしながら、マンガ「こち亀」を題材に調査を行う場合、①『週刊少年ジャンプ』に掲載された巻と、②コミックスに掲載された巻のどちらに焦点を当てた調査とするのかという点が重要となるだろう。なぜならば、①が、②へと編集される場合、内容の一部を修正・削除される可能性が考えられるからである。また、①の全巻がコミックスに掲載されているとも言い難い。特に、1990 年前後は、有害コミックの指定や雑誌業界の自主規制といった動きが活発だった。その影響により、「こち亀」においても、①と②の巻の内容が完全に一致していないことが考えられる。

よって、調査対象としては、「こち亀」の特徴である時事・社会性に注目していることから、『週刊少年ジャンプ』に掲載された巻を選択するのが妥当であろう。しかしながら、初期のそれらを閲覧できる施設は限られており、現在の筆者にとってこの調査方法を選択することは容易でない。そのため、今回は比較的入手しやすいコミックスをもとに、次章において予備調査を行ってみたい。

3. 予備調査 —「旅行」を扱った巻をどのように分析するのか—

本章では試みに、現在発売されているコミックスの「こち亀」のなかから、「旅行」を題材にした巻のタイトルをできるかぎり抽出し、表にまとめてみる（表 1 参照。なお、本表はあくまでも予備調査の結果をまとめたものである。そのため、十分な抽出がなされているとは言い難い。この点については、今後の研究において、明確な調査方法を提示することで、完全版を作成していきたいと考えている）。表 1 からは、伊勢神宮に始まり、アメリカやハワイ、香港、沖永良部島、京都、長崎などの地域が、「旅行」の対象地として扱われているということが、タイトルを見るだけでも推測できる。なお、「何を以って旅行とする」のかであるが、今回は署員旅行や町内会旅行以外に、キャンプやスキー、温泉なども含めた。この点については、詳細な基準を設け、分類を行うことを今後の課題としたい。

⁸ 工業地帯にみられる複雑に入り組んだ配管や工場自体の造形に惹かれて、実際にその場所を訪れたり、写真集を購入したりする人に注目が集まった。

また、コミックス第2巻の「伊勢神宮参拝の巻」を整理し、まとめた（表2参照）。特に、表2の網掛部分は、その時代の「旅行」に対する表現や描写が反映されている点であると捉えることができるのではないだろうか。これらをさらに整理し、既存のツーリズム研究と比較することで、両者における旅行動向の類似点や相違点を明らかにできるのではないかと考えている。

表1：マンガ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」における「旅行」を題材にした巻タイトル

コミックス 発行年月日 (第1刷)	コミックス (巻)	『週刊少年ジャンプ』 掲載年号	タイトル
1977-09-30	第2巻	1976年5・6号	「伊勢神宮参拝の巻」
1979-06-15	第8巻	1978年10号 1978年11号	「アドリブ旅行...の巻」 「冬の旅...の巻」
1982-04-15	第21巻	1980年35・36号	「メンソーレの巻」
1983-03-15	第25巻	1981年22号	「涙のG・W!?!の巻」
1983-06-15	第26巻	1981年40号 1981年41号	「両さんの留学!?!の巻」 「摩天楼の巻」
1983-08-15	第27巻	1981年42号 1981年43号 1981年44号 1981年45号 1981年46号	「アメリカよいとこ!?!の巻」 「シスコみやげの巻」 「CHPの巻（カリフォルニアハイウェイパトロールの略）」 「グッバイアメリカ!の巻」 「両さん帰国す!の巻」
1983-10-15	第28巻	1982年10号	「大スキー!!の巻」
1984-09-15	第32巻	1982年43号	「仲よし旅行の巻」
1985-02-15	第34巻	1983年20号	「幹事の苦勞!?!の巻」
1985-08-15	第36巻	1983年31号 1983年36号 1983年37号 1983年38号 1983年39号 1983年40号	「ノガミブルースの巻」 「両さんの長崎旅行①の巻」 「両さんの長崎旅行②の巻」 「両さんの長崎旅行③の巻」 「両さんの長崎旅行④の巻」 「さよなら両さん?の巻」
1986-01-15	第38巻	1984年10号	「敬老旅行の巻」
1986-03-15	第39巻	1984年15号	「春の舟遊び!?!の巻」
1986-07-15	第41巻	1984年32号 1984年33号 1984年34号	「南の島のバカンスの巻」 「海中散歩!?!の巻」 「脱皮!の巻」
1987-03-15	第45巻	1985年21号	「シルバー・ツアーの巻」
1987-05-15	第46巻	1985年34号 1985年35号 — — 1985年37号 1985年38号 1985年39号 1985年40号 1985年41号	「両津サマ御一行の巻」 「弱肉強食!の巻」 1985年37～41号：特別企画 両さんのヨーロッパシリーズ 「パスポートあります!の巻」 「ローマのふたりの巻」 「ゴンドラのうたの巻」 「ツアー地獄!の巻」 「思い出のパリの巻」
1987-08-15	第47巻	1980年39号	「東京散策!?!の巻」

1987-10-15	第 48 巻	1985 年 59 号 1986 年 10 号	「白銀はよぶ！の巻（前編）」 「白銀はよぶ！の巻（後編）」
1988-02-15	第 50 巻	1986 年 29 号	「恋の沖えらぶの巻」
1988-04-15	第 51 巻	1986 年 38 号 1986 年 39 号	「ハワイアンパラダイスの巻（前編）」 「ハワイアンパラダイスの巻（後編）」
1988-10-15	第 54 巻	1987 年 16 号	「名幹事両さんの巻」
1989-02-15	第 56 巻	1987 年 33 号 1987 年 38 号 1987 年 39 号	「This is お座敷 空の旅の巻」 「ローザンヌの休日の巻＜前編＞」 「ローザンヌの休日の巻＜後編＞」
1989-04-15	第 57 巻	1987 年 46 号	「幻の温泉郷の巻」
1989-06-15	第 58 巻	1987 年 52 号 1987 年 55 号	「ワクワク忘年旅行の巻」 「両さん月へ行くの巻」
1989-10-15	第 60 巻	1988 年 27 号	「北海 毛ガニ旅の巻」
1990-10-15	第 66 巻	1989 年 37 号 1989 年 38 号 1989 年 39 号	「柴又の思い出の巻」 「トビます！香港珍道中の巻」 「香港大チェイスの巻」
1990-12-09	第 67 巻	1989 年 49 号	「嵐の大江戸船めぐりの巻」
1991-02-15	第 68 巻	1989 年 59 号 1990 年 10 号	「カナダ翻随羅拳法珍道中の巻（前編）」 「カナダ翻随羅拳法珍道中の巻（後編）」
1991-09-15	第 71 巻	1990 年 34 号 1990 年 37 号 1990 年 38 号	「それゆけ香港！の巻」 「レジャーランドツアー（前編）の巻」 「レジャーランドツアー（後編）の巻」
1991-11-15	第 72 巻	1990 年 45 号	「空飛ぶ事業家！の巻」
1992-01-15	第 73 巻	1990 年 52 号	「甘露を求めて!!の巻」
1992-03-15	第 74 巻	1991 年 15 号 1991 年 16 号 1991 年 20 号	「翻随羅拳スキー合宿（前編）の巻」 「翻随羅拳スキー合宿（後編）の巻」 「銭湯レジャーランド化計画！の巻」
1992-08-09	第 76 巻	1991 年 42 号	「浅草七ツ星物語の巻」
1992-10-07	第 77 巻	1991 年 51 号 1991 年 52 号	「ご乱心!?両津和尚の巻（前編）」 「ご乱心!?両津和尚の巻（後編）」
1992-12-07	第 78 巻	1992 年 7 号	「葛飾署スキー旅行の巻」
1993-08-09	第 82 巻	1992 年 49 号	「最後の熱海旅行!?!の巻」
1994-04-09	第 86 巻	1993 年 36・37 号 1993 年 38 号 1993 年 40 号	「出現！南国パラダイス（前編）の巻」 「出現！南国パラダイス（後編）の巻」 「2 度目の夏休み！の巻」
1994-12-07	第 90 巻	1994 年 36・37 号	「夢のハワイ電車ツアーの巻」
1995-02-08	第 91 巻	1994 年 46 号	「絵崎教授 80 時間世界の旅の巻」
1995-12-06	第 96 巻	1995 年 41 号	「それぞれの夏・・・の巻」
1996-05-15	第 98 巻	1996 年 11 号	「スキーヤーV.S. スノーボーダー!?!の巻」
1996-11-06	第 100 巻	1996 年 29 号 1996 年 34 号	「アロハ天国の巻」 「レッツ・キャンプ!!の巻」
1997-03-09	第 101 巻	1996 年 26 号 1996 年 40 号	「両さんのパソコンツアーの巻」 「真夏のリゾート計画!!の巻」
1997-06-09	第 102 巻	1996 年 46 号 1996 年 52 号	「ゴーゴーツイスター!!の巻」 「古都の走馬灯の巻」
1998-04-08	第 107 巻	1997 年 44 号	「郷愁の螢 小夜曲の巻」
1998-08-09	第 109 巻	1998 年 10 号 1998 年 12 号	「香港 女の大バトル!!の巻（前編）」 「香港 女の大バトル!!の巻（後編）」
1999-02-09	第 112 巻	1998 年 39 号 1998 年 44 号 1998 年 45 号 1998 年 47 号	「東京名所・大江戸ランドの巻」 「民宿よいとこ一度はおいで！の巻（前編）」 「民宿よいとこ一度はおいで！の巻（後編）」 「GO!GO!スタンプラリーの巻」
1999-06-08	第 114 巻	1999 年 9 号	「署長と部長 感傷旅行!?!の巻」
1999-10-09	第 116 巻	1999 年 34 号	「夏の保養寮大改造!!の巻」
1999-12-07	第 117 巻	1999 年 39 号 1999 年 40 号	「南国タヒチで夏休み!!の巻」 「ファヒネ島の休日!!の巻」

2000-03-08	第 118 巻	1999 年 51 号	「お熱いのはお好き!?!の巻」
2000-09-09	第 121 巻	2000 年 30 号	「壮絶! “なんでも” ホテルの巻」
2000-11-07	第 122 巻	2000 年 36・37 号 2000 年 38 号 2000 年 40 号	「トロピカル DE アミーゴの巻（前編）」 「トロピカル DE アミーゴの巻（後編）」 「あの夏の思い出…の巻」
2001-06-09	第 125 巻	2001 年 10 号 2001 年 11 号 2001 年 12 号	京都ものがたり①「うわさの二人旅の巻」 京都ものがたり②「両津捕物帳! の巻」 京都ものがたり③「憂鬱の憂鬱の巻」
2001-11-07	第 127 巻	2001 年 37 号	「GIBOSHI- IKKA IN HAWAII」
2002-01-10	第 128 巻	2001 年 44 号	「大混浴フィーバー!! の巻」
2002-08-07	第 131 巻	2002 年 21 号 2002 年 22・23 号	「爆発! ハリウッドの巻（前編）」 「爆発! ハリウッドの巻（後編）」
2002-11-06	第 132 巻	2002 年 33 号 2002 年 34 号	「最強のキャンピングカーの巻」 「おいでませ宇宙観光の巻」
2003-08-09	第 136 巻	2003 年 13 号 2003 年 14 号 2003 年 19 号	「両さんの春スキー!?!の巻」 「亀有レトロタウンの巻」 「恐怖のイチゴ狩り!! の巻」
2003-11-09	第 137 巻	2003 年 30 号	「都会に泊まろう!! の巻」
2004-01-10	第 138 巻	2003 年 34 号 2003 年 36 号 2003 年 37 号 2003 年 40 号	「WATER PARADISE TOKYO」 「超神田寿司御一行様 IN THAILAND の巻（前編）」 「超神田寿司御一行様 IN THAILAND の巻（後編）」 「夏のファミリーキャンプは父親の威厳を 発揮する絶好の機会なんだぞ!! の巻」
2004-04-07	第 139 巻	2003 年 50 号	「飛べ! コンコルドの巻」
2004-06-09	第 140 巻	2003 年 51 号 2003 年 6・7 号	「通天閣署・御堂春登場!! の巻」 「大阪通天閣署ラブソディーの巻」
2004-08-09	第 141 巻	2004 年 15 号	「両津温泉物語の巻」
2004-11-09	第 142 巻	2004 年 20 号 2004 年 27 号	「愛 (!?) の東北二人旅の巻」 「夢の豪華客船!?!の巻」
2005-04-09	第 144 巻	2004 年 40 号	「御堂家の人々〜上京編〜の巻」
2005-06-08	第 145 巻	2004 年 49 号 2004 年 52 号	「スーパー幹事!?!中川!! の巻」 「わし達の寅さんの巻」
2005-08-09	第 146 巻	2005 年 11 号	「擬宝珠家温泉スキー旅行の巻」
2005-11-09	第 147 巻	2005 年 16 号	「桜戦線異状無し!?!の巻」
2006-01-10	第 148 巻	2005 年 26 号 2005 年 30 号 2005 年 35 号	「両さんの地域貢献!?!の巻」 「大阪万博開幕やで〜の巻」 「東京常夏ボーイズの巻」
2006-04-09	第 149 巻	2005 年 32 号 2005 年 33 号 2005 年 34 号 2005 年 39 号	「京都祇園祭旋風の巻（前編）」 「京都祇園祭旋風の巻（後編）」 「祇園祭始末記の巻」 「バカンスは納涼船での巻」
2006-06-07	第 150 巻	2005 年 47 号	「訳あり、金なし、旅情あり!?!の巻」
2006-11-07	第 152 巻	2006 年 15 号	「超豪華わしの誕生日!! の巻」
2007-01-09	第 153 巻	2006 年 20 号 2006 年 21・22 号 2006 年 25 号	「京都花見百景の巻（前編）」 「京都花見百景の巻（後編）」 「アルカトラズ島の対決」
2007-06-09	第 155 巻	2006 年 43 号	「食欲の秋!?!金欲の秋!?!の巻」
2007-08-08	第 156 巻	2007 年 4・5 号	「京都聖夜の巻」
2008-06-09	第 160 巻	2007 年 41 号	「海が呼んでいるの巻」

（出所）コミックス刷「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の第 1～161 巻を基に、筆者作成。

（注1）秋本治「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、ホーム社編集、集英社（東京都）、第 1～161 巻。コミックスを基本として、調査した。ただし、参考として「週刊少年ジャンプ」掲載年号も記載した。

（注2）該当する巻の次巻において、冒頭部分に旅行の話題が描かれている場合があるが、今回はそれらを省いた。

（注3）網掛部分は、「こら亀データベース」を参考にした。http://www.maxaydar.net/kame/（アクセス日 2008/12/12）

表 2：コミックス第 2 巻の「伊勢神宮参拝の巻」における旅行行動と描写

主なストーリー	セリフや行動、背景画など
初詣に、新幹線で伊勢神宮に行くために東京駅に着いた両津勘吉（以下、両さん）と同僚 2 名（中川、寺井）。 切符を購入せず、犯人輸送の途中だと見せかけて改札を突破する。その後、ホームにて他の乗客の列乗車を注意しつつも、ドアが開くと真っ先に車内へと駆け込み乗車をする両さん。 車内では、グリーン車と自由席の違いが分からなかったり、食堂車が付いていることに驚いたりする両さんが描かれている。 その後、車内で酒を飲み、歌を歌い、いびきをかきながら寝る 3 人に、周囲から冷ややかな視線が注がれる。 列車は、名古屋駅に到着し、中川と寺井は下車したが、両さんは寝過ごし、そのまま博多駅まで行ってしまう。	・東京駅のレンガ造りの駅舎（絵） ・東京駅前で両さん：「なんたって伊勢神宮にいくんだからな 豪気なもんだなっ！」 ・改札を警官の立場を利用して切符無しで通過した両さんと中川、寺井。一つ通過したあとに、もう一つ新幹線用の改札があることに驚く両さんと中川（絵）。両さん：「なんと もうひとつ 改札があるのか！？」 ・東京駅構内で両さん：「むふふ 酒なくてなんで旅が楽しかろう」 ・新幹線を見て両さん：「みんな同じような形だな どれが伊勢ゆきなんだ…」 ・その両さんに中川：「新幹線ですから名古屋でのりかえです 先輩まい子にならないでくださいよ」 ・新幹線のドアが開くのを並んで待つ中川と寺井。中川：「さすがに正月はこんでますねえ～」、寺井：「すわれるか どうか わからんぞ こりゃ」 ・我先にと、列を追い越し車内に駆け込む両さん ・袋とお菓子、サンダルを座席の上に置き（絵）、3 人分を確保したから座れると言う両さん ・中川：「この車両はグリーン車です先輩 自由席はむこうです」 ・両さん：「どうしてすわっちゃいけないんだ？あいてるぞ」 ・中川：「全部指定席なんです」 ・両さん：「なに！ そんなバカな話があるか！？」 ・椅子を回転させ、2×2 の向かい合わせにする中川 ・《まもなく 9 時 12 分発博多ゆき ひかり 99 号出発いたします》 ・新幹線が動いた時の両さん：「おおっ すごい すごい 動いたぞっ!!」 ・寺井：「そーいや両さん新幹線は初めてだっけなァ」 ・寺井に「たしか去年埼玉に法事にいったときもこの新幹線にのった」と言う両さん ・大量のテーブルゲームを取り出す両さん ・たくさん持ってきましたねと中川に言われると、両さん：「なに たいくつするところまと思ってな…長旅だし」 ・中川が、「長旅って…名古屋まで 2 時間」と言う ・将棋を始めた両さんと寺井だが、寺井に王手をかけられた両さんは将棋盤をひっくり返して、「いやあ すまんすまん よくゆれる電車だなあ」と言う。しかし、寺井：「新幹線がそんなにゆれるわけないだろう！」 ・この騒ぎでお腹が空いた寺井が、「ビュッフェにこう」と言う ・ビュッフェの意味がわからない両さんに、中川：「食堂車のことですよ」 ・食堂車を訪れた両さん：「本当にここでメシがでるのか」 ・メニューにギョーザやトン汁がないことを知り、メニュー表を見た両さん：「なんだ 国鉄も随分ハイカラだねえ」 ・両さんがウエイトレスと話し終え、席に戻ると、中川が混んできたので戻りましょうと両さんに言う。「サンドイッチならもってこられるでしょ？」と言う中川に、両さん：「まったく 俺のために食堂車に行ったんだ…」 ・両さんと中川が席をはずし、寺井一人になる。寺井：「大ぜいでくるのも楽しいが…やはり旅はひとりのほうがいいな…」 ・両さんが酒（一升瓶）を持って戻ってきて、「酒でものもう！ここで新年会といこう！」、寺井：「みんながみてるから 少しおさえて…」と言う ・車内で宴会を始める両さんたちに、周囲の乗客からの冷たい視線（絵） ・《まもなく名古屋に到着いたします！》 ・アナウンスを聞き、飛び起きて列車を降りる中川と寺井 ・名古屋駅に到着し、ドアが開くと乗客が外に勢いよく押し出されて降車する（絵） ・《博多—博多—おわすれものないようにおおりください》 ・博多駅のホームのポスター（看板）に、DISCOVER JAPAN を連想させる文字の一部「COVER JAPAN」が描かれている（絵）

（出所）コミックス刷「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の第 2 巻を基に、筆者作成。

（注）今回使用したコミックスは、第 73 刷（1990 年 6 月 15 日発行）のものである。なお、第一刷は 1977 年 9 月 30 日であるため、初刷と異なる箇所がある可能性が考えられる。

4. 今後の課題

本稿では、第2章において、なぜマンガ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」を調査対象に選んだのか、調査対象の妥当性を論じるとともに、第3章において、今後の研究手法確立に向けた予備調査として、そこに描かれている「旅行」とは一体どのようなものを表にまとめ、今後の研究の可能性を示した。今後は、①「旅行」の枠組みを詳細に設定し、各巻のカテゴリーを分けるとともに、②ツーリズムに関する先行研究ではどのように旅行動向の変遷が論じられているのかを明らかにしたうえで、「こち亀」とツーリズムの先行研究において見られる旅行動向の相違・類似点を論じたいと考えている。

【参考文献】

- ・ 秋本治、ジャンプコミックス「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、ホーム社編集、集英社、第1～161巻
- ・ 「こち亀データベース」、<http://www.maxaydar.net/kame/>（アクセス日：2008/12/12）
- ・ 高橋洋（2000）「旅行雑誌の特集テーマに見る旅行動向」、『立教大学観光学部紀要』第2号、立教大学観光学部、pp. 61-72
- ・ 岡田章子（2003）「女性雑誌における東アジア観光都市のイメージ：三重化するオリエンタリズムとグローバルの交錯」、『マス・コミュニケーション研究』No. 62、日本マス・コミュニケーション学会、pp. 82-97

（了）

マンガ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」に描かれる
旅行動向に関する考察（その 1）
—研究手法確立に向けた予備調査—

著 者： 石川美澄

発行者： 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院
観光創造専攻文化資源マネジメント研究室
（編集委員長： 山村 高淑）

2008 年 12 月 30 日
